

## 補足資料

1 小学校外国語活動：英語ノートの実用例

(1) 一人一人の子どもの学びの速度に配慮した実用例

◎教材 英語ノート2「Lesson 3 友だちの誕生日を知ろう」

- ◎単元目標
- 1 世界と日本の祭りや行事に興味を持つ。
  - 2 積極的に友だちに誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりしようとする。
  - 3 英語での月の言い方や、誕生日の言い方に慣れ親しむ。

◎指導計画

時	授業目標	活動	内容	表現
1	日本の季節の行事や特徴を伝え、英語での月の言い方を知る。	<b>【気付き】P16 Activity</b> (月ごとの行事) <b>【気付き】P17 Let's Listen</b> (外国の行事と月) <b>【慣れ】P17 Let's Chant</b> (月名) <b>【慣れ】おはじきゲーム</b> (月名) <b>【慣れ】指さしゲーム</b> (月名) <b>【気付き】振り返り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日本の季節の行事と月の関係を子どもが自分の生活と比較しながら確認する。</li> <li>• 英語での月の言い方を知り、何種類かある日本語の月の言い方と比べ、日本語の豊かさに気付く。</li> <li>• おはじきゲームや指さしゲームを通して、英語での月の言い方に聞き慣れる。</li> </ul>	January February March ...～ December
2	自分の誕生日を言う。	<b>【慣れ】指さしゲーム</b> (月名)② <b>【慣れ】P17 Let's Chant</b> ② <b>【慣れ】P18 Let's Play</b> キーワードゲーム(月名) <b>【慣れ】P18 Let's Play</b> ミッシングゲーム(月名) <b>【慣れ】P18 Activity</b> (日にちの言い方) <b>【気付き】振り返り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キーワードゲームやミッシングゲームを使って、英語での月の言い方を聞いて繰り返し言う。</li> <li>• P18 Activity を使って、英語での日にちの言い方を知る。</li> </ul>	January ...～ December 1st,2nd,3rd, 4th...～31st When is your birthday?
3	誕生日についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解する。	<b>【慣れ】P17 Let's Chant</b> ③ <b>【慣れ】P18 Let's Play</b> キーワードゲーム(月名) <b>【慣れ】P18 Let's Play</b> ステレオゲーム(月名) <b>【慣れ】P19 Let's Listen</b> (誕生月の聞き取り) <b>【慣れ】P18 Activity 発展</b> 「カルタ取り」(日にちの言い方) <b>【気付き】振り返り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• キーワードゲームやステレオゲームを使って英語での月の言い方を聞いて繰り返し言う。</li> <li>• P19 Let's Listen 誕生日についてのまとまった話を聞いて、その概要を理解する。</li> <li>• P18 Activity 英語ノートのデジタル教材を使って日にちを英語で流す。31枚の日にちカルタ取りを行い、英語の日にちの言い方に聞き慣れる。</li> </ul>	When is your birthday? (例)January 8th grandfather, grandmother 等の家族を言い表す英語
4	自分や相手の誕生日について訪ねたり答えたりする。	<b>【慣れ】P17 Let's Chant</b> ④ <b>【慣れ】P18 Activity 発展</b> 「カルタ取り」② <b>【慣れ】</b> スーパーメガジャンケンゲーム (月名+自分の誕生日の言い方) <b>【慣れ】P16 Activity 発展</b> 「誕生日の尋ね方、答え方」 <b>【中心コミュ】P21 Activity 2</b> 「誕生日インタビュー」 <b>【気付き】振り返り</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• スーパーメガジャンケンゲームで、それぞれの月の言い方と自分の誕生日について英語で言う。(自分の誕生月だけ誕生日まで言い、その他の月は月名のみ英語で言う)</li> <li>• P16 Activity の季節の絵カードを使って、中心コミュで使用する表現に慣れ親しむ。                      A: Hi, Hello. When is your birthday?                      B: Look! (P16 の季節の絵カードを示す)                      A: Oh. January!                      B: Yes. January 16th.</li> <li>• P21 Activity2 を使ってクラスメイトに英語で誕生日を聞き、クラスの誕生日リストを作る。何月生まれが多いのか、また少ないのかを知る。</li> </ul>	When is your birthday? (例)January 8th

## (2) 異文化理解と子どもの興味・関心に関連付けた活用例

◎教材 英語ノート1 「Lesson 9 ランチ・メニューを作ろう」

- ◎単元目標
- 1 お互いに自分の食べたいものをはっきりと伝え合おうとする。
  - 2 自分たちの考えたメニューをみんなの前で紹介する。
  - 3 世界の料理と日本の料理の共通点や相違点に気付く。

◎指導計画

時	授業目標	活動	内容	表現
1	世界の国々では、朝食に様々なものが食べられていることを知る。	<p>【気付き】P57 Let's Listen (国名と朝食メニューの聞き取り)</p> <p>【慣れ】おはじきゲーム (朝食関係の言葉)</p> <p>【慣れ】P56 Activity (朝食メニューの比較)</p> <p>【気付き】振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 普段の朝食で食べるものを出し合う。</li> <li>• ALT の国でよく食べる朝食について知る。</li> <li>• 朝食で食べたいメニューを絵に描き、英語で言う。 What do you eat? I eat....</li> </ul>	<p>rice, bread, egg, milk, juice, soup, salad, fruit What do you eat? I eat....</p>
2	自分たちの地域や世界の国々の食べ物を知るとともに、友達の好きな食べ物を尋ね合う。	<p>【気付き】 自分たちの地域や外国の料理</p> <p>【気付き】 食べ物に関する和製英語</p> <p>【慣れ】P58 Let's Chant (料理名)</p> <p>【慣れ】P57 Let's Play キーワードゲーム(料理名)</p> <p>【慣れ】P58 Let's Play ビンゴゲーム(料理名)</p> <p>【気付き】振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 和食や自分たちの地域ならではのメニューについて発表し、ALT が好きかどうか尋ねる。 (和製英語を確認する。)</li> <li>• ALT の国の食べ物について知る。</li> <li>• 他の国の食べ物や外国から来た食べ物について発表し合う。</li> <li>• キーワードゲームで食べ物を表す言葉に慣れ親しむ。</li> <li>• ビンゴゲームで、好きな食べ物を尋ね合う。 What would you like...? I'd like sushi.</li> </ul>	<p>spaghetti, sushi, pizza, sukiyaki,</p>
3	国際交流パーティーのメニューを考える。自分の食べたいものをはっきりと相手に伝える。	<p>【慣れ】P58 Let's Chant②</p> <p>【慣れ】P57 Let's Play キーワードゲーム(料理名)②</p> <p>【気付き】 パーティーメニューの紹介① 「各国の人気料理調査」</p> <p>【慣れ】 パーティーメニューの紹介② 「メニューの決定」</p> <p>【気付き】振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 世界の国々の食べ物とその言い方を思い出す。</li> <li>• チャンツで表現の口慣らしをする。</li> <li>• 世界の人達が集まるパーティーのランチメニューをグループごとに決める。</li> <li>• 1人ずつ担当の国を決め、その国の料理をあげる。</li> <li>• その中でどの食べ物が人気があるか、できるだけたくさんの人に尋ねる。 What would you like? I'd like....</li> <li>• インタビューの結果からメニューをグループで決める。</li> </ul>	<p>What would you like? I'd like ~. Here you are. Thank you. You're welcome.</p>
4	自分たちの考えたメニューを紹介する。	<p>【慣れ】P58 Let's Chant③</p> <p>【慣れ】 パーティーメニューの紹介③ 「Show &amp; Tell グループ練習」</p> <p>【中心コミュ】 パーティーメニューの紹介④ 「Show &amp; Tell 実演」</p> <p>【気付き】振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分たちの考えたランチメニューの言い方を思い出す。</li> <li>• グループごとにランチメニューを show &amp; tell で紹介する。 What's your lunch? This is our lunch. This is ....</li> <li>• どのグループのメニューがよいか、決める。 What would you like?</li> </ul>	<p>What would you like? I'd like ~. What's your lunch?</p>

(3) 他教科・領域との関連を意識した活用例

◎教材 英語ノート2「Lesson 6 行ってみたい国を紹介しよう」

- ◎単元目標
- 1 自分の行きたい国とその理由について相手に何とかして伝えようとする。
  - 2 自分が行ってみたい国について、理由を添えながら発表する。
  - 3 世界の国々の食べ物や自然などについて興味を持つ。

◎指導計画

時	授業目標	活動	内容	表現
1	社会科で学習した国々について、名前や国名や国旗を知る。	【気付き】P37 Let's Listen 2 (国名と国旗の色の聞き取り) 【気付き】国当てゲーム 【慣れ】国旗おはじきゲーム 【気付き】振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国旗を世界地図に貼り、国旗の色や形の表現を紹介する。</li> <li>• それぞれの国の風景や食べ物の写真を見せながら、英語で説明をして、国名を尋ねる。</li> <li>• 国旗を記載したビンゴシートにおはじきをおいたゲームで国名の言い方に慣れる。</li> </ul>	国の名前 国旗の色、形 (yellow, red, blue, green, circle, square, triangle)
2	グループで、一つの国について、食べ物や観光名所などを紹介する。	【慣れ】P37 Let's Chant(国名) 【気付き】国の郷土料理や観光名所調べ 【慣れ】3ヒントクイズ(国名) 【気付き】振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 国の言い方のチャンツをする。</li> <li>• 各グループに一つずつ、調べる国を与える。それぞれの国特有の食べ物やスポーツや風景を、英語で紹介する。(I can <u>eat / see / play</u> ～.)</li> <li>• 全体に紹介し、どこの国か当ててもらおう。(3ヒントクイズ)</li> </ul>	I can <u>eat / see / play</u> ～.
3	自分の行きたい国とその理由を、何とかして相手に伝えようとする。	【慣れ】P37 Let's Chant② 【慣れ】P38 Let's Play ビンゴゲーム 【気付き】行ってみたい国の調査 【慣れ/ コミュ】行きたい国インタビュー(ペア) 【気付き】振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>• チャンツで表現の口慣らしをする。 Where do you want to go? I want to go to ～. I <u>can / want to eat / see / play</u> ～.</li> <li>• ペアで会話をし、行きたい理由まで言えたら、相手から国旗のシールをもらい、ワークシートに貼る。</li> </ul>	Where do you want to go? I want to go to ～.
4	自分の行きたい国について発表する。	【慣れ】P37 Let's Chant③ 【慣れ/ コミュ】行きたい国インタビュー②(グループ) 【中心コミュ】行ってみたい国紹介スピーチ(グループ→全体) ※グループ代表が全体の前で発表する 【気付き】振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体の前で、自分の行きたい国について、理由を添えて発表する。</li> <li>• I want to go to Italy.</li> <li>• I want to eat pizza.</li> <li>• I like soccer. I like Nagatomo. He is cool.</li> </ul>	I want to <u>go to / eat / see / play</u> ～.

## 2 小学校外国語活動：身近な事柄を題材とした活動例

### (1) 平成版かぐや姫を劇で表現しよう

#### ア 本単元のねらい

本単元では、静岡県のお話を元にしたオリジナルの劇で表現することを通して、静岡県にも昔話があることを知ったり、静岡県やその他の日本の昔話について興味を持ったりするだけでなく、実際に演じてみたりすることで、気持ちを込め、ジェスチャーを付けて表現する体験をしたりする。

日本の昔話については、ある程度知っていると思われるが、どの昔話がどこで生まれたのか、また静岡県にはどのような昔話があるのかを知らない子どもが多い。それらを知ること、昔話に託された昔の人々の思いに触れ、静岡県や日本に対する郷土愛を培いたい。

また、劇を練習することを通して自分の思いを相手に伝えるための表現方法を考えたり、発表したりすることを通して、「みんなの前で堂々と表現できた」という自己肯定感を育みたい。

#### イ 本単元の内容

##### (ア) 主としてコミュニケーションに関すること

- 友達と一緒に、1つのものを作り上げる喜びを体験すること。
- みんなの前で表現する楽しさを体験すること。
- 気持ちを込めて言ったり、ジェスチャーなどを加えて表現したりすることの大切さを知ること。
- 互いの表現方法を高め合うこと。
- 友達の表現活動を楽しみながら聞いたり見たりすること。

##### (イ) 主として言語や文化に関すること

- 静岡県や日本の昔話を聞いて、昔の人々の思いに触れること。
- 劇の練習をすることで、英語の音声やリズムに慣れ親しむこと。

○話 題：日本や静岡県の昔話

○場 面：静岡県の昔話を演じる。

○表 現：Will you marry me? I want .... I'll try.

○国際理解：日本や静岡県の昔話を知る。

#### ウ 目標

- ① 創作劇を通して、台詞に込められた思いをより相手に伝わるように表現しようとする。
- ② 英語での絵本の読み聞かせを通して、英語のリズムに親しみ、絵を見ながら内容を推測しようとする。
- ③ 静岡県や日本の昔話を知り、昔話に興味を持つとともに、昔話に託された昔の人々の思いに触れようとする。

#### エ 時間配分：4時間

第1時	第2時	第3時	第4時
<p>【活動①】Let's Listen. 英語の台詞を聞いてどの物語か考えよう。</p> <p>【活動②】Let's Listen. かぐや姫の話の話を聞こう。</p>	<p>【活動①】Let's Listen. かぐや姫の欲しいものを順に並べる。</p> <p>【活動②】Activity グループで、登場する人物と、かぐや姫の欲しいものを考えて、劇を作ろう。</p>	<p>【活動①】Let's Chant.</p> <p>【活動②】Activity 劇の練習をしよう。</p> <p>【活動③】Activity 互いの表現を見て、高め合おう。</p>	<p>【活動①】Let's Chant.</p> <p>【活動②】Activity 劇の練習をしよう。</p> <p>【活動③】Activity 発表しよう。</p>

オ 指導計画(第1時, 第2時)

過程	児童の活動	教師の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ⇒ 指導上の留意点</li> <li>◎ ⇒ 評価の観点</li> <li>◆ ⇒ 国際理解の視点</li> </ul>	準備物
<p><b>第1時:</b> 日本の昔話がどこで生まれたかを知り, 昔話に込められた人々の思いに触れるとともに, 昔話について興味を持つ。</p>				
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. I'm ....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. How are you today?</li> </ul>		
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本や自分たちの地域の昔話について, 知っている話を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本や地域の昔話にはどんなものがあるか発表しよう。</li> </ul>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 台詞を聞いて, 話を考える。</li> <li>● 話の内容を確認し, グループで, 昔の人々のどんな思いが込められた話なのかを想像して話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. You look cold. Please use this hat. (かさじぞう:岩手)</li> <li>2. I want to be big. I want to be strong. (一寸法師:新潟)</li> <li>3. Wow! I can see Osaka and Kyoto. I can see everything. (天狗の隠れ蓑:熊本)</li> <li>4. Oh, it's mine. I want to go back to the sky. Give me back. (天女のはごろも:静岡他)</li> <li>5. I don't want to give my daughter to the God. Please help us. (しっぺい太郎:静岡)</li> <li>6. Today is full moon. I have to go back to the moon. (かぐや姫:静岡, 奈良, 京都)</li> </ol> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>● かぐや姫の話を聞き, 内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語の台詞を聞いて, 何の話のだれの台詞か考えよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師が表情豊かに英語で台詞を言うことにより, 場面を想像させる。</li> <li>● 話の内容を確認するのみでなく, それぞれの昔話に託された昔の人々の思いを考える。</li> <li>◆ 自国の物語についての理解を深める。</li> <li>◎ 昔話の世界に思いをめぐらせ, それぞれの話に込められた人々の思いを想像している。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 絵本を見せながら資料1を読む。</li> </ul>	<p>昔話の絵本</p> <p>かぐや姫の絵本</p>
<p><b>第2時:</b> かぐや姫の話を聞き, オリジナルのかぐや姫の劇を作ろうとする。</p>				
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. I'm ....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. How are you today?</li> </ul>		
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 求婚している5人の名前とかぐや姫が望んだ品物を合わせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かぐや姫が求婚される場面を英語で聞こう。</li> <li>A: My name is ...</li> <li>Will you marry me?</li> <li>B: Oh, I want a ...</li> <li>A: OK. I'll try.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料の中の求婚される場面だけを読んで人と品物を一致させる。</li> </ul>	<p>5人の名前と品物のカード</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 欲しい物をいくつか考える。</li> <li>● グループになって, かぐや姫のほしい物と, それを持ってきた時のかぐや姫の反応を考え合い, 英語で表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分がかぐや姫だったら何が欲しいか考えよう。</li> <li>● グループでオリジナルの劇を考え, 英語で表現しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分がかぐや姫だったら何が欲しいか考えさせることで, 劇化に対する意欲を高める。</li> <li>● アイディアが浮かばないところには具体的に例示したり, 英語の言い方が分からない班には言い方を教えたりなど, グループごとの支援をする。</li> <li>◎ オリジナルのかぐや姫の劇を作ろうと自分の意見を積極的に言おうとしている。</li> </ul>	

## オ 指導計画(第3時, 第4時)

過程	児童の活動	教師の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ⇒ 指導上の留意点</li> <li>◎ ⇒ 評価の観点</li> <li>◆ ⇒ 国際理解の視点</li> </ul>	準備物
第3時: オリジナルの劇の表現方法やセリフの言い方を工夫し合う。				
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. I'm ....</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. How are you today?</li> </ul>		
復習	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チャンツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チャンツで台詞に慣れよう。</li> <li>“Will you marry me?”</li> <li>“I want ....”</li> <li>“OK. I'll try.”</li> <li>“Thank you very much. I'm happy.”</li> <li>“I'm sorry. I don't like it.”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● チャンツで言い方に慣れさせる。</li> </ul>	
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループごとに、セリフの言い方やジェスチャーをお互いに工夫しながら、かぐや姫の劇を練習する。</li> <li>● 2つのグループがペアとなり、お互いに劇を発表し合い、表現について互いにアドバイスをする。</li> <li>● 劇の練習をする。欲しい物をいくつか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 台詞の言い方やジェスチャーの工夫をしながら、劇の練習をしよう。</li> <li>● 2つのグループで中間発表をしよう。</li> <li>● もう1度劇の練習をしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 台詞を棒読みするのではなく、意味を考えながら言い方やジェスチャーを工夫するようにする。</li> <li>● お互いの表現を見合うことにより高め合う。</li> <li>◎ 台詞に込められた思いをより相手に伝わるようにと表情やジェスチャーを工夫しようとしている。</li> </ul>	
第4時: 台詞に込められた思いをより相手に伝わるようにと表情やジェスチャーを工夫しながら、みんなの前で堂々と表現しようとする。				
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. I'm ....</li> <li>● チャンツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Hello. How are you today?</li> <li>● チャンツ</li> </ul>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループごとに、発表に向けて最後の練習をする。</li> <li>● グループごとに劇の発表をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 発表に向けて最後に練習をしよう。</li> <li>● オリジナルのかぐや姫の劇を発表しよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ みんなの前で堂々と自分の台詞を言っている。</li> </ul>	扇子 お面
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 劇をやってみての自分の感想や、友達の見ている感想などについて、振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 劇をやってみての感想や、友達の見ている良いところなどについて振り返りをしよう。</li> <li>● 発表しよう。</li> <li>● 教師からの視点で、児童の劇の感想を述べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 振り返りの視点を与えて、振り返りをする。</li> <li>● みんなの前で表現できたことを認め、児童の良いあらわれを中心に感想を述べることにより、児童の自己肯定感を高めるようにする。</li> </ul>	

## カ 補足資料

### (7) 日本の昔話

昔話は、生活の中から誕生し、口承されてきたものである。「むかし」や「あるところに」という不明な時や場所が用いられ、本当にあったかどうかは知らないけれどという心持ちで語り継がれている。主人公の幸福や悪人の懲罰で終わることが多く、人が生きていく上で大切なことを話にして言い伝えている。また、一定の繰り返しや三段階の話の展開などの法則がある。

#### 【かさじぞう(岩手県)】

善悪という対比的な図式を用いることなく、純粹に正しい行いをする者は救われるという話。

大晦日の夜、貧乏なおじいさんが、かさを売りに町へ出かけたが、売れずに家に帰ろうとした。途中、6体のお地蔵様に雪が積もっているところを見かけたおじいさんは、すべてのお地蔵様に かさをかぶせてあげた。するとその夜、歌声とともにお地蔵様がおじいさんの家にやってきて、おもちゃごちそうを山のようにおいていった。

#### 【一寸法師(新潟県)】

体の小さい一寸法師が知恵を使って、幸せを手に入れる話。

子どものいない夫婦が神様にお願いをしたところ、小さな親指くらいの男の子が誕生した。一寸法師と名付けられた男の子は、針の刀を持ち、お椀の船とはしのかいで都に出かけ、お姫様を救おうと針の刀で鬼と戦った。鬼がおいていった打ち出の小槌で大きくなった一寸法師は、そのお姫様と結婚し、幸せになった。

#### 【天狗の隠れ蓑(熊本県)】

一休、吉四六と並んでとんち話の主演である彦一の話。

とんちを使って権力者をこらしめもするが、時には失敗するなど決して英雄ではない姿が描かれており、人々に愛されている。

天狗の隠れ蓑がほしくてたまらない彦一は、一本の竹をのぞき、「これは千里眼じゃ」と言い、とうとう天狗が持っている隠れ蓑と交換する。隠れ蓑で次々といたずらをした彦一が酒によって寝ている間に、女房が燃やしてしまう。あわてた彦一はその灰を使って姿を消すことに成功したが、酒場でこっそりと酒を飲み、唇の灰がはげたことから、主人に見付き追われることとなった。

#### 【天女の羽衣(静岡市)】

天部に住むとされる天女が、羽衣を奪われ空に帰れなくなってしまう話。

日本や朝鮮半島などの各地に伝説が伝わっている。静岡市清水区の三保の松原には天女が舞い降りたとされる樹齢約650年の古松があり、羽衣の松と呼ばれている。

塩売りの男が松の木に掛けられた美しい布を見付け、持ち帰った。その夜やってきた美しい娘はその布の持ち主で、自分の羽衣を見付けた娘は、ひとしきりの舞いのあと、やがて羽衣を身にまとい、天に戻ってしまった。

#### 【しっぺい太郎(磐田市)】

久しく続く人身御供の慣わしを断ち切ってくれた犬の話。

旅の僧が、ある山奥で立派な屋敷を見付けた。その家では、娘を中心に集まり泣いていたため理由を尋ねると、古い社に毎年人身御供を出しており、その順番に当たっているとのことであった。お祭りの夜、娘の入れられた棺を見ていると、化け物がやってきて、「しっぺい太郎にゃ知らすなよ」と歌うので、信州の信濃へ行き、しっぺい太郎という犬を探し連れてきた。次の年のお祭りの夜、しっぺい太郎は化け物と戦い、化け物を倒してくれた。その時の戦いでしっぺい太郎も傷つき、イチョウの木の下で倒れてしまったが、村人みんなで厚く葬った。



## 【かぐや姫（富士市 他）】

日本で初めて作られた物語文学「竹取物語」を子どもに分かりやすく紹介した話。

求婚する若者はいずれも高い位と富を持った人々であったため、無理難題を言い、求婚を断ることで、富と権力をこらしめるという権力批判の物語ではないかという説がある。

竹取物語由来の地と名乗る地域が複数あり、静岡県富士市、奈良県広陵市、京都府向日市、香川県さぬき市、岡山県倉敷市、広島県竹原市、鹿児島県さつま町の7市町では、「かぐや姫サミット」という地域間交流が開催されている。静岡県の富士市には、「竹取姫」と刻んだ小さな塚があり、翁と姫が住んだと伝えられている竹取公園がある。一般に知られているかぐや姫は、月の世界の人であり、最後には月に帰って行くが、富士市に伝わる物語では、かぐや姫は富士山の仙女で、最後は富士山の山頂に帰って行くという話になっている。

## (イ) 静岡県の民話の例



(7) 英語版「かぐや姫」

Long time ago, an old man and an old woman lived near a bamboo grove. They wanted a baby very much. The old man worked hard in the bamboo grove, so he was called “Takatori-no-Okina.”

One day, the old man found a shining bamboo and said, “Wow! Why is it shining?” He walked up to the bamboo and cut it. “Wow, a baby girl! How cute!” Inside there was a very small lovely girl. He felt very happy and took her to his house. The old man and the old woman decided to raise her. She was named “Kaguya-hime.”

As the girl grew up, she became a beautiful lady. “We have never seen such a beautiful lady,” everybody said. A lot of men wanted to marry her.

One day, five young men came to her and asked to marry her.

The first man said, “My name is Ishizukuri-no-Miko. Will you marry me?”

Kaguyahime answered, “I want Hotoke no Hachi.” “OK. I’ll try,” he said.

The second man said, “My name is Kuramochi-no-Miko. Will you marry me?”

Kaguyahime answered, “I want Horai no Tama no Eda.” “OK. I’ll try,” he said.

The third man said, “My name is Abemiushi. Will you marry me?”

Kaguyahime answered, “I want Hinezumi no Kawagoromo.” “OK. I’ll try,” he said.

The fourth man said, “My name is Otomono Miyuki. Will you marry me?”

Kaguyahime answered, “I want Ryu no Kubi no Tama.” “OK. I’ll try,” he said.

The last man said, “My name is Isono Kaminomaro. Will you marry me?”

Kaguyahime answered, “I want Tsubame no Koyasugai.” “OK. I’ll try,” he said.

She had requested very rare things. The five young men tried to get them, but all of them failed. “You couldn’t get what I wanted, so I can’t marry any of you. I’m sorry,” Kaguyahime said.

Later, the Mikado came to see Kaguyahime. He asked, “Will you marry me?” “I’m sorry, I can’t,” Kaguyahime answered.

Some years later, Kaguyahime began to cry every night. “Why are you crying?” Takatori-no-Okina asked. “I’m from the moon. On the night of the full moon, I have to go back home. I will miss you.”

On that day, a lot of people came from the moon to take her back. Takatori-no-Okina and his wife didn’t want her to go back to the moon, but it was impossible for her to stay.

She went back to the moon, at last.

## (2) わたしのふるさと

## ア 本単元のねらい

私たちの身の回りには、たくさんの音楽があふれている。音楽は、雰囲気盛り上げたり気持ちを落ち着かせたりするほか、人の心に思い出として残るものがある。その内の一つが、ふるさとを歌った歌である。普段は意識していないが、ふるさとを離れて初めてその歌のよさに気付くことがある。この気持ちは、国が違っても同じであると思われる。

歌の中には、歌詞を変えて様々な国で歌われているものがある。歌詞の通りに歌えなくても、同じメロディーを口ずさむことで国の違いを越えた心の交流をすることができるのが音楽のいいところである。

本単元では、ふるさと静岡にちなんだ歌を外国籍児童やALTと共に知り、自分のふるさとを歌を通して見つめる。また、それと同時に、歌を通して外国籍児童やALTの出身国、世界へと目を広げていく。子どもたちは、音楽科で「日本の音楽」(4年生)、「アジアの音楽」「日本の音楽」(5年生)、「世界の音楽」「日本の音楽」(6年生)において、地方や国に独特の音楽や歌があることを学習してきている。また、日常的には「今月の歌」で、月ごとに違った英語の歌にふれたり、音楽の副教材である「明るい声で」の中からもいくつかの外国曲に親しんだりしている。

単元の活動を通して、コミュニケーションを図るには、音楽も活用できるということに気付いてほしい。

## イ 本単元の内容

## (ア) 主としてコミュニケーションに関すること

- 音楽を通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ふるさとへの思いを込めて歌うことの大切さを知ること。

## (イ) 主として言語や文化に関すること

- 音楽を通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験すること。
- ふるさとへの思いを込めて歌うことの大切さを知ること。
- ALTやクラスの外国籍の子の出身国にちなんだ歌を知る活動を通して、ふるさとを思う気持ちは同じであることに気付くこと。
- 世界各国にあるふるさとの歌が、言語を変えて日本でも歌われていることを知り、音楽でも世界とつながっていることに気付くこと。
- ふるさとを歌った歌には、その国・地方の文化が表れていることを知り、外国や自国の文化に対する理解を深めること。

○話 題：それぞれのふるさとを歌った歌

○場 面：それぞれのふるさとを歌った歌を知ったり歌ったりする。

○表 現：Do you know this song? Yes. No. Let's sing this song!

○国際理解：国や言語は違っても、ふるさとを思う気持ちは世界中同じであることに気付く。

## ウ 目標

- ① 静岡県の歌を外国の人に知ってほしいという思いを持って紹介する。
- ② 簡単な外国語の歌を歌うことで、外国語独特のリズムに親しむ。
- ③ 一つの曲が世界の様々な言語で歌われていることを知り、世界は音楽でもつながっていることに気付く。

## エ 時間配分：3時間

第1時	第2時	第3時
<b>【活動①】Let's Listen</b> みかんの花さく丘  <b>【活動②】Activity</b> 静岡にちなんだ歌を知って、歌おう。	<b>【活動①】Let's Sing</b> 静岡の歌  <b>【活動②】Activity</b> ALTやクラスの外国籍児童の国について知り、その国の歌を歌おう。	<b>【活動①】Let's Sing</b> 静岡とALT(外国籍児童)の国の歌  <b>【活動②】Activity</b> 日本でも歌われている外国の曲を歌ってみよう。

オ 指導計画(第1時)

過程	児童の活動	教師の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ⇒ 指導上の留意点</li> <li>◎ ⇒ 評価の観点</li> <li>◆ ⇒ 国際理解の視点</li> </ul>	準備物
<p><b>第1時：静岡にちなんだ歌を知り，クラスの外国籍児童や ALT に英語を使って紹介しようとする。</b></p>				
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいさつをする。 I'm good / full.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいさつをする。 How are you ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いつもしている挨拶をすることで，活動に対する安心感を持つことができるようにする。</li> </ul>	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 担任がロズさんの歌を聴く。</li> <li>● 曲について知っていることを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「みかんの花咲く丘」をロズさむ。</li> <li>● What's this song ?</li> <li>● キーワード「みかん」に当たる英語“tangerine”を言って，絵カードを黒板に貼る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもたち全員が知っている曲を選んで歌い活動への意欲を高める。</li> <li>● 静岡にちなんだ歌であること話し，主活動につなげる。</li> </ul>	絵カード
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静岡にちなんだ歌を発表し，一緒に歌う。</li> <li>● 歌詞が表す情景を絵に描き，ALT や外国籍児童に紹介する。 Mt.Fuji / head / cloud / listen / thunder / No.1 green tea / eighty-eight / field mountain</li> <li>● 静岡出身の人が作った歌を知り，歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Let's enjoy Shizuoka songs.</li> <li>● Please teach me Shizuoka songs. (ALT がいる場合)</li> <li>● 他にどんな静岡にちなんだ歌があるかな？ 「ふじ山」「Mt. Fuji」 「ちゃつみ」 “Green Tea Harvest”</li> <li>● Do you know this song ?</li> <li>● 静岡出身の人が作った歌を紹介する。 「森の水車」“Millwheel” 「月の沙漠」“Desert Moon” 「汽車ぽっぽ」 “Choo Choo Train” 「かわいい魚屋さん」 “Cute Boy and Fish” 「せいくらべ」“How tall?”</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌を表す絵カードを出し，キーワードを英語で表す。</li> <li>● 歌が出るごとに少しずつメロディーをみんなでロズさむ。(ALT も知っている部分を歌うようにする。)</li> <li>◎外国籍児童やALT に絵を使って英語で紹介しようとしている。</li> <li>● 絵カードは，作曲者・作詞者の出身地や歌った風景の地図上の場所に貼っていく。</li> <li>● 同時に，地名や地形の確認をする。</li> <li>● 子どもが知らない歌は CD をかけたり担任が歌ったりする。</li> <li>● 曲について説明をする。</li> <li>◆静岡にちなんだ歌がたくさんあることに触れ，ふるさどを見つめるきっかけの一つとなるようにする。</li> </ul>	絵カード 静岡県地図 歌集「明るい声で」童謡 CD
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽しかったことや初めて知ったことはどんなことですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎静岡県にちなんだ歌がたくさんあることに気付いている。</li> <li>● 歌を通してコミュニケーションが図れることに触れる。</li> <li>● 次回は外国籍児童や ALT が自国にちなんだ歌を紹介することを知らせる。</li> </ul>	

オ 指導計画(第2時)

過程	児童の活動	教師の活動	● ⇒ 指導上の留意点 ◎ ⇒ 評価の観点 ◆ ⇒ 国際理解の視点	準備物
第2時: ALT や外国籍児童の国にちなんだ歌を知り、一緒に口ずさんでみようとする。				
挨拶	●あいさつをする。 I'm good / full.	●あいさつをする。 How are you?	●いつもしている挨拶をすることで、活動に対する安心感を持つことができるようにする。	
導入	●前時に学習した歌を歌う。	●Let's sing Shizuoka songs. "Green tea Harvest" "Mt. Fuji" "Cute Boy and Fish" "Choo Choo Train"		歌集 「明るい声で」
展開	●外国籍児童(ALT)の出身国について知っていることを発表する。  ●外国籍児童(ALT)の出身国についての話を聞く。  ●外国籍児童(ALT)の出身国にちなんだ手遊び歌を知る。 ●歌いやすい部分を一緒に歌ったり手遊びをしたりする。	●今日は、○○さんの国の歌を教えてください。  ●○○さんの国についてどんなことを知っていますか? OBAMA / baseball / sea / soccer / carnival ●外国籍児童(ALT)の出身国について紹介する。 high / dry / big / wheat  ●Do you know this song? フレーズを少し口ずさんで紹介する。 <ブラジル> "Atirei o Pau no Gato" (猫に棒をぶつけた) "A Galinha do Vizinho" (おとなりさんのメンドリ) <アメリカ> "Humpty Dumpty" "Hey Diddle, Diddle" "Apples And Bananas" ●Let's sing together! ●Let's play together!	●児童が知らない場合のために、教師があらかじめ下調べをしておく。 ●自分たちが知っていることを発表することで、本時の学習についての興味付けをする。  ◆その国の特徴について、キーワードを英語で表す。 ●担任がジェスチャーをすることで、英語とその意味が結び付きやすくなる。 ◎曲やその背景について少し説明をする。 ◎歌を表す絵カードを出し、キーワードを英語で表す。 ◎外国語の曲の歌詞やリズムを楽しみながら歌おうとしている。	世界地図          絵カード
まとめ	●活動の振り返りをする。	●楽しかったことや初めて知ったことはどんなことですか。	●歌を通してコミュニケーションが図れることに触れる。 ●次回は日本で歌われている外国の曲を探すことを知らせる。	

※日本で親しまれている外国曲

- |   |                       |
|---|-----------------------|
| ● アメリカ⇒すいかの名産地 10人のインディアン 大きな古時計 森のくまさん アルプス一万尺<br>線路は続くよ | ● イディッシュ(東方ユダヤ語)⇒ドナドナ |
| ● イギリス⇒ロンドン橋 グリーンスリーブス 羽生の宿                               | ● フィンランド⇒ジェンカ         |
| ● アイルランド⇒ダニーボーイ   | ● イスラエル⇒マイムマイム        |
| ● スコットランド⇒蛍の光 マイボニー                                       | ● ポリネシア⇒サモア島の歌        |
| ● フランス⇒クラリネットをこわしちゃった アヴィニヨンの橋の上で                         | ● 韓国⇒アリラン             |
| ● イタリア⇒フニクリフニクラ(とらのパンツ)                                   | ● 中国⇒まつり花             |
| ● ロシア⇒カチューシャ トロイカ コロブチカ                                   |                       |

オ 指導計画(第3時)

過程	児童の活動	教師の活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ⇒ 指導上の留意点</li> <li>◎ ⇒ 評価の観点</li> <li>◆ ⇒ 国際理解の視点</li> </ul>	準備物
<p>第3時: 一つの曲が, 世界の様々な言語で歌われていることを知る。</p>				
挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいさつをする。 I'm good / full.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● あいさつをする。 How are you ?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いつもしている挨拶をすることで, 活動に対する安心感を持つことができるようにする。</li> </ul>	
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静岡や外国籍児童(ALT)の国にちなんだ歌を歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Let's sing Shizuoka and ○○ songs !</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クイズ形式も入れて, 児童が歌えなくても活動に参加できるようにする。</li> </ul>	童謡 CD 静岡県地図
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報交換ゲームをして日本で歌われている外国曲を知る。</li> <li>● 分かったことを発表する。</li> <li>● 「ドレミの歌」の原曲との歌詞の違いを知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本でどんな外国曲が歌われているか, 調べてみよう。 Do you know this song ?</li> <li>● Which country ?</li> <li>● Do you know this song ? ド…ドーナツ Do…female deer</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歌だけのカード(質問用)と歌と国名を書いたカード(回答用)をそれぞれが持ち, 互いに情報交換をすることを伝える。</li> <li>● 早く終わった子には, 次のカードを渡す。</li> <li>● 世界地図に歌を表す絵カードを貼っていく。</li> <li>● 世界地図に曲名を書き入れていく。</li> <li>◆ 国によって音からイメージする言葉は違うが, 同じような歌い方をしていることに気付くようにする。担任がジェスチャーをすることで, 英語とその意味が結び付くようにする。</li> </ul>	ゲーム用カード  世界地図  ドレミの歌 CD 英語版
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動の振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 楽しかったことや初めて知ったことはどんなことですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ たくさんの国の歌が日本語に訳されて, 歌われていることに気付いている。</li> <li>● 浜松でショパンコンクールが開かれていることや, 辻井さんがバンクライバーンコンクールで優勝したことなどに触れる。</li> </ul>	





### 3 英語ノート※と中学校学習指導要領との関連

※新教材“Hi, friends!”との関連については、各自で確認してください。

#### (1) 英語ノート1

単元名	単元目標	活動内容	表現
1 世界の「こんにちは」を知ろう	①挨拶のマナーを知り、友だちや初対面の人と積極的に挨拶をする。 ②名刺交換などの活動を通して、英語で自分の名前を相手に伝える。 ③世界には様々な言語があることを知る。	①世界の国のこんにちは ②みんなと挨拶 ③みんなと名刺交換	-- Hello. -- What's your name? -- My name is .... -- Nice to meet you.
2 ジェスチャーをしよう	①表情やジェスチャーを付けて相手に感情や様子を積極的に伝える。 ②感情や様子を尋ね合う。 ③表情やジェスチャーなどの言葉によらないコミュニケーションの大切さを知る。	①いろいろな表情を試みる ②感情や様子を表す語を使ったジェスチャーゲームをする ③みんなと挨拶	-- How are you?
3 数で遊ぼう	①積極的に数を使ったゲームをしようとする。 ②1～20の数を使っていろいろなゲームをする。 ③世界の数の数え方や遊びに興味を持つ。	①いろいろな言葉でじゃんけん ②数を数える歌 ③数を使ったゲーム	-- How many?
4 自己紹介をしよう	①友だちと積極的に好き嫌いを確認し合う。 ②英語で自分の好き嫌いを相手に伝える。 ③日本語には様々な英語が起源の言葉(外来語)があることに気付く。	①好き嫌いを聞き取る ②好き嫌いを尋ねる ③好きなものを描く ④自己紹介をする	-- Do you like...? -- I like ....
5 いろいろな衣装を知ろう	①積極的に買い物の疑似体験をする。 ②英語を使って好きな衣服を紹介する。 ③世界の衣服に興味を持つ。	①いろいろな衣服の言い方を知る ②どのような服を着てみたいか考える ③買い物を疑似体験する ④買った物を発表する	-- I like.... -- I don't like.... -- Do you have ...? -- I have....
6 外来語を知ろう	①積極的に好きなものを尋ねたり、注文したりする。 ②好きなものを尋ねたり、注文したりする表現に慣れ親しむ。 ③日本語と英語の発音の違いに気付く。 ④身近な外来語に興味を持つ。	①身近な外来語をさがす ②キーワードゲーム ③自分の欲しいものを注文する ④互いにフルーツパフェを作り合う	-- What do you want? -- ... , please. -- Here you are. -- Thank you. -- You're welcome.
7 クイズ大会をしよう	①積極的に相手にこれは何かと質問したり、答えたりする。 ②英語を使って、クイズ大会をする。 ③英語にも日本語の二字熟語と同じような言葉があることを知る。	①クイズ大会	-- What's this? — It's a ....
8 時間割を作ろう	①積極的に自分たちの作った夢の時間割を伝えようとする。 ②英語で自分たちが作った夢の時間割を伝えようとする。 ③世界の小学校の学校生活に興味を持つ。	①教科名当てジェスチャークイズ ②曜日当てクイズ ③時間割ビンゴ・ゲーム ④自分たちの時間割を作る	-- I study ...on....
9 ランチ・メニューを作ろう	①積極的にオリジナル・ランチ・メニューを発表しようとする。 ②丁寧な言い方で欲しいものを尋ねたり、質問に対して自分の欲しいものを伝えたりする。 ③世界の料理に興味を持つ。	①どこの国の朝ご飯か考える ②食べ物ビンゴ・ゲーム ③オリジナル・ランチ・セットをつくる	-- What would you like? — I'd like....



中学校学習指導要領解説外国語編			
語彙	言語文化	言語の使用場面や働き	言語材料
①挨拶の言葉	異なる文化圏の, ①ボディ・ランゲージ ②ジェスチャー	①あいさつ ②自己紹介 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】	-- Hello. -- Nice to meet you. -- My name is ~. -- What's your name? -- Good-bye. See you.
①感情	①自分の思いを相手に伝えるためのいろいろなジェスチャー	①あいさつ ②自己紹介 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】	-- How are you? — I'm ~. (happy / hungry / sleepy / fine / thirsty / hot / tired / cold)
①じゃんけん ②数	海外の国々の数の, ①言い方 ②数え方 ③遊び方	①子どもの遊び (小学校外国語活動にのみある項目) 【使用場面b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面】	-- How many ... ? -- 答えとして、数字だけを口頭で伝える(最大20まで)
①食べ物 ②スポーツ	①単語の発音の違い ②身振り手振りの違い	①自己紹介 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】 →学習指導要領解説P21「例1」程度でよい	-- I like ~. -- Do you ~? — Yes, I do. / No, I don't. -- Thank you. -- インテネーション(Do you ... ? は上げる)
①洋服 ②色	①各国の衣服	①買い物 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】	-- Do you have ~? -- I don't like ~. -- Here you are. / Thank you. / You're welcome.
①食べ物 ②スポーツ	①外国語の由来	①食事 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】 →レストラン等で、店員が本来What would you like? というべきところを、あえてWhat do you want? と表現している	-- What do you want? -- ~, please. -- How many ? -- Here you are. / Thank you. / You're welcome. -- ア音声(ア)
①海の生き物 ②文房具	①英語にも単語が組み合わさってできている言葉があること	①事実を尋ねる (クイズ大会)	-- What's this? -- It's a ~. -- That's right. -- What animal is this? (発展)
①曜日 ②教科	①外国の小学校の学校生活	①学校での学習や活動 【使用場面b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面】	-- I study (subject) (on ___ day). -- What subject is this? -- What do you study? -- 曜日 -- weが主語 e.g. We study Japanese on Monday.
①メニュー	①場に応じて、相手を敬い、礼儀正しい表現をすること	①食事 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】 →店員がpolite mannerで表現している	-- What would you like? — I'd like juice. -- I eat fruit and cereal in the morning. -- What do you eat for breakfast? (発展)

(2) 英語ノート2

単元名	単元目標	活動内容	表現
1 アルファベット で遊ぼう	①積極的にアルファベットの大きな文字 見つけて、読む。 ②アルファベットの文字の読み方を聞いて、 それがどの大きな文字かわかる。 ③アルファベットの大きな文字に興味を持つ。	①アルファベット・カルタ ②アルファベットを使った ミッション・ゲーム ③身の回りにある アルファベットの大きな文字を 探そう	-- What's this? — It's ～. -- That's right.
2 いろいろな 文字がある ことを知ろう	①身の回りで見つけたアルファベットを 積極的に発表しようとする。 ②21～100の数の言い方に親しむ。 ③世界の様々な文字に興味を持つ。	①動物を数える ②大文字と小文字を 結びつけよう ③町の中からアルファベット 表示を探そう	-- What's this? — It's ～.
3 友達の誕生日 を知ろう	①積極的に友だちに誕生日を尋ねたり、 自分の誕生日を答えたりする。 ②英語での月の言い方や、誕生日の言い方に 慣れ親しむ。 ③世界と日本の祭りや行事に興味を持つ。	①月の名前を使った キー・ワード・ゲーム ②ミッシング・ゲーム ③誕生日をインタビューしよう	-- When is your birthday? -- My birthday is ....
4 できることを 紹介しよう	①積極的に、「できること」を尋ねたり、 「できること」や「できないこと」を答えたりする。 ②「できる」「できない」という表現に 慣れ親しむ。 ③ショー・アンド・テルを通して、 多様な発表のあり方があることに気付く。	①ジェスチャー・クイズ ②友だちにインタビュー ③ショー・アンド・テルで 自己紹介	-- Can you ....? -- I <u>can / can't</u> ....
5 道案内を しよう	①積極的に道案内しようとする。 ②建物の名前や道案内の表現に 慣れ親しむ。 ③英語で道案内することに興味を持つ。	①建物の名前を使った いろいろなゲーム ②サイモン・セズ・ゲーム ③オリジナル・タウンを作って 紹介しよう	-- Excuse me. -- Where is ...? -- Go straight. -- Turn right/left.
6 行ってみたい 国を紹介しよう	①自分の思いがはっきり伝わるようにスピーチを したり、積極的に友だちのスピーチを 聞いたりする。 ②自分が行ってみたい国と理由を発表する。 ③世界ではいろいろな英語が話されてい ることに興味を持つ。	①ビンゴ・ゲーム ②行きたい国、国旗、理由の チャンツ ③行きたい国とその理由の スピーチを発表したり、 聞いたりしよう	-- Where do you want to go? — I want to go to ....
7 自分の一日を 紹介しよう	①積極的に自分の1日を紹介したり、 友だちの1日を聞き取ったりしようとする。 ②自分の1日の生活を紹介する。 ③世界には時差があることに興味を持つ。	①1日の動作の ジェスチャー・ゲーム ②先生の1日を聞き取ろう ③自分の1日を紹介 ④友だちの1日を聞き取ろう	-- What time is it? — It's .... -- What time do you ...? — I ... at ....
8 オリジナルの 劇をつくらう	①積極的に英語を使ってオリジナルの劇を つくり演じようとする。 ②まとまった英語の話を聞いて、 内容を理解する。 ③世界の物語に興味を持つ。	①オリジナルの劇を作ろう ②劇を発表し合おう	-- Please help me. -- Please help us. -- What's the matter?
9 将来の夢を 紹介しよう	①積極的に自分の将来の夢について、 理由を含めて紹介したり、友だちの夢を 聞き取ったりする。 ②どのような職業につきたいかを尋ねたり、 答えたりする表現に慣れ親しむ。 ③様々な職業の言い方に興味を持つ。	①チェーン・ゲーム ②インタビュー ③スピーチで自分の夢を 紹介しよう ④友だちのスピーチを 聞きとろう	-- What do you want to be? — I want to be a ....

中学校学習指導要領解説外国語編			
語彙	言語文化	言語の使用場面や働き	言語材料
①A～Zの 大文字	①ローマ字と英語との 名前の標記方法の違い	①褒める 【働きb 気持ちを伝える】	-- イ(ア)アルファベットの活字体大文字 -- That's right. -- 1～20までの数字
①a～zの 小文字 ②number (21～100)	①世界には195の国がある ②そのうち54か国の公用語が 英語	①褒める 【働きb 気持ちを伝える】	-- イ(ア)アルファベット活字体小文字 -- 21～100と195の数字 -- 世界の文字
①月の名前 ②1～31の序数	①世界の祭りや行事 ②日本の祭りや行事	①質問する 【働きe 相手の行動を促す】 ⇒インタビュー	-- When is your birthday? -- (My birthday is in) January. -- 月の名前 -- 1～31の序数 -- We have ～ in December.
①スポーツ ②楽器 ③簡単な動詞	①人と自分との違い ②違いを認め合う	①家庭での生活 ②学校での学習や活動 【使用場面b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面】	-- I <u>can / can't</u> ～ -- Can you ～? — Yes, I can. / No, I can't. -- play soccer / make an omlet / play the piano / ride a unicycle / swim
①場所 ②建物 ③方向	①英語での道案内の仕方	①道案内 【使用場面a 特有の表現がよく使われる場合】 ⇒方向を示す	-- Where is ～? -- Go straight. Turn right / left. Stop. -- What's this? / Bookstore. (施設や建物, 店) -- エ(ア)c 命令文
①国の名前	①世界では、いろいろな 英語が話されている	①発表する 【働きe 相手の行動を促す】	-- I want to go to ～. -- Let's go. -- 国の名前 -- What country is this? -- I want to eat / play / see ～. -- I like ～.
①1日の動作	①世界には時差がある	①家庭での生活 ②学校での学習や活動 【使用場面b 生徒の身近な暮らしにかかわる場面】	-- I get up at ～. -- What time is it? -- It's ～. -- What time do you ～? -- daily routine (get up / go to school / eat lunch / read a book / watch TV / take a bath / go to bed / go home) -- 時間を伝えるための数字
①家族 ②動物	①世界のいくつかの昔話	①オリジナルの劇を作り、 演じる ②呼び掛ける 【働きa コミュニケーションを円滑にする】 ③礼を言う, 苦情を言う 【働きb 気持ちを伝える】	-- エ(ア)c 命令文 -- Please help me / us. -- 家族の語彙 -- What's the matter? -- Wow! It's big / heavy. -- Please come here. -- It's too heavy / big!
①職業	①世界の子どもたちが 就きたい職業 ②日本の子どもとの違い ③文化的な違い	①発表する ②スピーチをする 【働きc 情報を伝える】	-- 文法事項(カ) to不定詞 -- What do you want to be? — I want to be a teacher. -- Why? / Because I like ～. -- 職業の語彙(16種類)

#### 4 中学校外国語科(英語)：4領域の1つに重点を置いた単元計画例

ここでは、4領域の1つに重点を置いた単元計画例とその評価規準例を提示してあります。単元の評価規準と評価方法の表には**総括的評価**(単元の評価規準に即して子どもの力を判定し、観点別評価及び評定に反映するための評価)を、単元計画表には**形成的評価**(授業の目標に照らし、子どもの学びの状況・状態を見取り、指導に生かすための評価)を示しました。

##### (1) 聞くことを重点にした単元の流れ

◎教材 NEW HORIZON 1 「Unit 5 お祭り大好き」

◎単元目標

買い物特有の表現と数の尋ね方や答え方を知り、買い物の場面での会話を楽しむ。

また、Let's～や命令文等の指示や提案をするときの表現を使う活動を通して、相手の言葉に適切に応じることができるようにする。

- 買い物の場面や指示・提案のある場面の会話に積極的に参加しようとする。相手の言葉に簡単な言葉や動作で反応して聞こうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 相手の指示や提案に、言葉や動作で適切に応じることができる。(外国語理解の能力)
- How manyを用いた文の用法や名詞の複数形について理解する。命令文やLet'sを用いた文の構造について理解する。(言語や文化についての知識・理解)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
評価規準	買い物の場面の会話に意欲的に取り組んでいる。相手からの指示や提案に適切に応じようと、簡単な言葉や動作などで反応しながら聞いている。		命令文やLet'sを含む文を正しく聞き取り、相手からの指示や提案に対して、適切に応じている。	数を尋ねるときは、How manyを用いることを理解している。名詞の複数形について理解している。命令文やLet'sを用いた文の構造について理解している。
評価方法	【第3時】相づちを打ったり、メモを取ったりして聞いたことについて、簡単な言葉や動作などで反応しているか、取組の様子を観察し評価する。 【第5時】相手からの指示や提案に、簡単な言葉や動作などで反応しているか、取組の様子を観察し評価する。		【後日】命令文やLet'sを含む文を聞いて正しく理解できるか、リスニングテストで評価する。	【後日】名詞の複数形や、命令文、Let'sやHow manyを含む文の使い方について理解しているか、ペーパーテストで評価する。

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後にペアで場面を考えてスキット作りをし、お互いのスキットを聞き合い、相手からの指示や提案に適切に応じる活動を行うことを告げ、簡単な言葉や動作などで反応しながら聞く活動に目的意識を持って取り組ませる。			
1	物が2つ以上ある時には複数形で表現することを知り、名詞の複数形について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英語ノートにある数の歌を歌う。(最初は1～10、次に11～20)</li> <li>● 教師がHow manyを使いながら、鉛筆やノートなどをいくつ持っているか尋ね、生徒は、持っている数を答える。</li> <li>● 複数形があることを知り、教科書のP4, 5の単語を使って複数形の言い方に慣れる。名詞によって発音の仕方に違いがあることや複数形にならない名詞についても理解する。</li> <li>● 名詞の複数形の書き方について理解し、教科書P4, 5の複数形をグループで確認しながら書く。</li> <li>● 教科書のPart1の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 名詞の複数形について正しく書いているかどうかノートで理解状況を確認。(知・理)</li> </ul>

2	How many を用いる数の尋ね方について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P4, 5の名詞を用いて、数(100まで)と複数形について復習する。</li> <li>Part1を読む。(CDの後に→ペア)</li> <li>教科書のPart2の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。)</li> <li>How manyを含む文について理解し、ペアでどんな時に使うか考え、いろいろな文を言ってみる。</li> <li>物の絵(名前)とその数がかいてあるカードを一人5枚ずつもち、カード交換ゲームをする。</li> <li>カード交換ゲームでの会話をノートに書き、今日の学習を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>How manyを用いて正しく尋ねているかどうか、行動観察とノートで理解状況を確認する。(知・理)</li> </ul>
3	買い物特有の表現や数を尋ねる言い方を用いて、買い物ごっこに積極的に参加しようとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part1,2を読む。(CD→ペア)</li> <li>Part1,2の表現に言い慣れ、覚える。(CDを相手に→ペアで役に分かれて)</li> <li>Part1,2の表現を用いて、買い物の場面での会話(ほしい物を言う→いくつほしいか尋ねる→数を言う→値段を言う→お金を渡す→おつりを渡す)を役割に分かれて行う。</li> <li>買い物ごっこの会話をノートに書き、今日の学習を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相づちを打ったり、メモを取ったりして聞いたことについて、簡単な言葉や動作などで反応しているか、行動観察により確認する。(関・意・態)</li> </ul>
4	Let's を用いた文と一般動詞から始まる命令文についての文の構造を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイモンセツズゲームをする。</li> <li>サイモンセツズで使った文をいくつか書き、命令文の構造を理解する。また、Let'sをつけると相手に提案する表現になることを知り、Let'sを付けても自然な文と、付けてと不自然な文とに分けることにより、Let'sを用いた文について理解する。</li> <li>教科書のPart3の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。)</li> <li>ペアで、本文の中から命令文とLet'sを用いた文を探し、単語を入れ替えるなどして、お祭りの場面で使えそうな文を考えて言い合い、ノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>命令文とLet'sを用いた文についての用法や文の構造を正しく理解しているかどうか、ノートで理解状況を確認する。(知・理)</li> </ul>
5	相手からの指示や提案に対して、簡単な言葉や動作などで反応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part3を読む。(CD→ペア)</li> <li>ペアで前時の最後に考えた文を言い合い、それに応じ合う。ペアを何度か変えることで、言い慣れを図る。</li> <li>カードを1人5枚ずつもち、1枚のカードに1文ずつ命令文かLet'sを含む文を書き、それを使って命令ゲームをする。</li> <li>命令ゲームの中で、友達に言われた文をノートに書き、今日の学習を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手からの指示や提案に、簡単な言葉や動作などで反応しているか、行動観察により確認する。(関・意・態)</li> <li>相手からの指示や提案に適切に応じているか、行動観察により英語の理解状況を確認する。(外国語理解)</li> </ul>
6	それぞれのスキットの場面で、相手からの指示や提案に適切に応じることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Part1～3をペアで役に分かれて読む。</li> <li>命令文やLet'sを含む文が、日常のどんな場面で使えるか発表し合う。</li> <li>ペアで場面を考え、スキット作りをする。</li> <li>ペア同士でお互いのスキットを聞き合い、その後、ペアを入れ替えて、指示や提案に応じる役の生徒になり、やってみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手からの指示や提案に適切に応じているか、行動観察により、英語の理解状況を確認する。(外国語理解)</li> </ul>
後日	リスニングテスト ペーパーテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示や提案のある別の場面での英語を聞いて、言葉や動作で適切に応じることができるか。</li> <li>名詞の複数形や、命令文、Let'sやHow manyを含む文の使い方について理解しているか。</li> </ul>	

(2) 話すことを重点にした単元の流れ

◎教材 TOTAL ENGLISH 3 “Lesson3 E-mails from the U.S. and India”

◎単元目標

自分の生活や体験を紹介する中で、必要な表現や技法を用いて自分の気持ちや考えを分かりやすく伝え、会話を継続・発展させることができるようにする。

- 与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ALTとの会話の中で、与えられた話題についての自分の意見や主張を状況にふさわしい英語を用いて相手に分かるように話し、会話を続けることができる。(外国語表現の能力)
- 現在完了形の文構造について理解している。(言語や文化についての知識・理解)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けている。	ALTとの会話の中で、与えられた話題についての自分の意見や主張を状況にふさわしい英語を用いて相手にわかるように話し、会話を続けることができる。		現在完了形を用いた文の構造について理解している。 It～for～to.を用いた文の構造について理解している。
評価方法	【第3時】【第6時】【第8時】において、子どもが工夫をして話を続けているかどうか、コミュニケーションへの継続の様子を観察し評価する。	【第9時】【第10時】のALTとの会話における表現の能力を目標に照らして、子どものパフォーマンスで評価する。		【後日】現在完了形とIt～for～to.の文構造について理解しているかどうかをペーパーテストで評価する。

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後にALTと2人で3分間程度のsmall talkを行うことを告げ、インタビューやペアでの会話活動に目的意識を持って取り組ませる。			
1・2	単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書3A、3Bの内容をQ&Aで適切に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師のoral introductionで本文を導入し、タクの体験やE-mail情報をもとに、NASAの宇宙開発事業の様子について読み取る。</li> <li>●現在完了形(継続)の文構造について知る。</li> <li>●なりきりインタビュー</li> <li>●ALTとの会話を意識し、教科書の内容についてペアで質問し合い、タクになったつもりで適切に質問に答えるとともに、即時的な会話のやり取りについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在完了形(継続)の文構造についての理解状況をワークシートで確認する。(知・理)</li> <li>●単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書の内容を適切に且つ即時的に伝えているか、行動観察および、ワークシートで確認する。(外国語表現)</li> </ul>
3	「私が今、一番関心を持って続けていること」「私がしばらくやっていないこと」について友だちに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教師の話す英語を聞いて、教師が「今、関心を持って続けていること」について何をどのくらい続けているのかを聞き取る。</li> <li>●ALTの話す英語を聞いて、ALTの「私がしばらくやっていないこと」について何をどのくらいしていないのかを聞き取る。</li> <li>●「私が今、一番関心を持って続けていること」「私がしばらくやっていないこと」のどちらかの話題を選択し、マッピングをしてイメージを広げて、コミュニケーション活動に備える。</li> <li>●友だち同士で「私が今、一番関心を持って続けていること」「私がしばらくやっていないこと」について、できるだけ話が長くように、質問をしたり、コミュニケーションマナーを効果的に活用したりして、工夫をして伝え合う。</li> <li>●話したことをノートに英語でまとめ、単元の最後のコミュニケーション活動で活用する。</li> <li>●現在完了形の継続用法について、言葉の働きを言語活動を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)</li> </ul>

4 ・ 5	単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書3C, 3Dの内容をQ&Aで適切に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師のoral introductionで本文を導入し、ナナの体験やE-mail情報をもとに、インドの生活習慣について日本の文化と比較しながら読み取る。</li> <li>現在完了形(経験)の文構造について知る。</li> <li>It～ for～to～の文構造について知る。</li> <li>なりきりインタビュー</li> <li>教科書の内容についてペアで質問し合い、ナナになったつもりで適切に質問に答えるとともに、即時的な会話のやり取りについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在完了形(経験)とIt～ for～to～の文構造についての理解の状況をワークシートで確認する。(知・理)</li> <li>単元の目標であるALTとの会話を意識して、なりきりインタビューに取り組み、教科書の内容を適切に且つ即時的に伝えているかどうかを行動観察および、ワークシートで確認する。(外国語表現)</li> </ul>
6	「私の心に残った一番の体験」「私がこれから始めてみたいと思うこと」について友だちに紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の話す英語を聞いて、教師の「心に残った一番の体験」についていつどこで何をしたのかを聞き取る。</li> <li>ALTの話す英語を聞いて、ALTの「私がこれから始めてみたいと思うこと」について何をしたことがなくて、なぜ始めてみたいのかを聞き取る。</li> <li>「私の心に残った一番の体験」「私がこれから始めてみたいと思うこと」のどちらかの話題を選択し、マッピングをしてイメージを広げて、コミュニケーション活動に備える。</li> <li>友だち同士で「私の心に残った一番の体験」「私がこれから始めてみたいと思うこと」について、できるだけ話が長くように、質問をしたり、コミュニケーションマナーを効果的に活用したりして、工夫をして伝え合う。</li> <li>話したことをノートに英語でまとめ、単元の最後のコミュニケーション活動で活用する。</li> <li>現在完了形の経験用法について、言葉の働きを言語活動を通して理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)</li> </ul>
7	「私が一番大切だと思うこと」についてまとまりのある英文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の話す英語を聞いて、愛・家族・友・時間・お金・食べ物・勉強の中から教師が「一番大切だと思うこと」を聞き取る。</li> <li>「私が一番大切だと思うこと」についてワークシートに英語でまとまりのある文を書く。</li> <li>友だちが書いた英文を読み、賛否やその理由を書いて伝える。</li> <li>ALTとの会話で使えそうな文をノートに英語でメモをし、ALTとの会話に向けての展望を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマについて目標文(It～for～to.)を用いた英文を自分の立場で書けているか、ワークシートの英文を確認する。(外国語表現)</li> </ul>
8	ALTとのsmall talkに向けたペア活動で、自分の意見や主張を工夫して伝え、できるだけ会話が長くように話す。(事前練習会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元を通して表現した話題を活用して、「自分らしさが一番伝わる話題でALTと話してみよう」という話題でマッピングをしてイメージを広げ、自分についての紹介文をまとまりのある英語で書く。</li> <li>何度もペアを替えながら5分間のsmall talkを行い、できるだけ会話が長くように、質問をしたり、コミュニケーションマナーを効果的に活用したりして、工夫をして伝え合う。</li> <li>会話練習の中で効果的であった話題や表現を簡単なメモに落とし、次時に備える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた話題で友達と話をし、質問をしたり、自分の感想などを話したりして、工夫して話を続けているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)</li> <li>一人一人が次時にALTとの会話活動へ向かえる状態であるか、会話活動の様子から習得の状況を確認する。(外国語表現)</li> </ul>
9 ・ 10	ALTとのsmall talkで、自分の意見や主張を状況にふさわしい表現を用いて分かるように伝え、できるだけ会話が長くように話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTと3分間程度のsmall talkを行い、自分の意見や主張を相手に伝える。(現在完了形を用いた一文をきっかけにして話を始め、話の途中でIt～for～to.を用いて自分の思いを伝えるよう、ルールを設定する。)</li> <li>ALTは話をして分かったことを子どもに伝え、子どもの「学びの実感」を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTとの会話の中で、与えられた話題についての自分の意見や主張を状況にふさわしい英語を用いて相手に分かるように話し、会話を続けることができるか、子どものパフォーマンスを評価する。(外国語表現)</li> </ul>

(3) 読むことを重点にした単元の流れ

◎教材 NEW HORIZON 2 “Let’s Read Try to Be the Only One”

◎単元目標

主人公の生き方や自分自身の生き方について思いを持てるように、主人公の育った境遇や時代背景と関連させながら、その生き方を適切に読み取る。

- 主人公の生き方や考え方について深く理解しようと、根拠となる文章を探しながら意欲的に読み進めようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 主人公の生き方や自分自身の生き方について思いを持つことができるよう、主人公の育った境遇や時代背景とその生き方について読んで理解することができる。(外国語理解の能力)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解の能力	言語や文化について の知識・理解
評価規準	主人公の生き方や考え方についてより深く理解しようと、根拠となる文章を探しながら意欲的に読み進めている。		自分自身の人生と重ねながら、主人公の生き方について思いを持つことができるよう、主人公の育った境遇、時代背景やその生き方について適切に読み取ることができる。	
評価方法	【第2・3時】主人公の生き方や考え方についてより深く理解するために、根拠となる文章を探しながら読み進めようとしているか、取組の様子を観察し評価する。		【後日】読み取りの視点に沿って、根拠となる文章をもとに適切に理解しているか、別の話を用いてペーパーテストで外国語理解の能力を評価する。	

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後に、主人公の魅力を伝えることができるようになるために、本文に述べられている主人公の生き方や考え方から、自分が是非紹介したい事柄を選べるよう、目的意識を持って読ませる。			
1	あらすじを大まかに読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新垣勉さんの歌う「さとうきび畑」を聞く。</li> <li>●1ページごとに音読した後、CDを聞いて読み方(発音)を確認する。</li> <li>●新垣勉さんの家族構成や環境、生まれた日、好きなことなど、教師側からの読み取りの視点に基づいて読み、ワークシートに記入する。</li> <li>●読み取ったことをグループで確認し、生まれ育った環境等について大まかに理解する。</li> <li>●新垣勉さんの人生について初発の感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読み取りの視点に沿って、根拠となる文章を探しながら、あらすじを大まかに理解しているか、ワークシートで確認する。(外国語理解)</li> </ul>
2	根拠となる文章を探しながら、読み進めようとする。主人公の子ども時代の思いをより深く読み取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音読で、通し読みをする。</li> <li>●1, 2ページ目を読む中で、疑問に思った所や考えたいことを、線を引いたりメモをとったりしながら読む。</li> <li>●疑問に思ったことや考えたいことを全体で発表し、みんなで考えたいことを共通の課題とする。 (例) 牧師は、なぜ、涙を流したのだろうか? 新垣さんは、牧師さんが、自分のどんなところを分かってくれたと感じたのだろうか?</li> <li>●発表や教師からの資料により、新垣勉さんの幼少時代と関係のある沖縄戦について知る。</li> <li>●本文の文章を根拠にして課題について読み取り、ワークシートに記入する。</li> <li>●全体で、課題について確認し、沖縄戦の影響等からつらい子ども時代を過ごしてきたことを理解する。</li> <li>●本時読み取ったことを考えながら、1, 2ページ目を読む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●根拠となる文章を探しながら読み進めようとしているか、取組の様子を観察し確認する。(関・意・態)</li> <li>●子ども時代のつらい思いを読み取っているか、ワークシートで読み取り状況を確認する。(外国語理解)</li> </ul>



3	<p>根拠となる文章を探しながら、読み進めようとする。主人公が、つらい子ども時代を乗り越え、前向きに考えるようになっていった流れについて理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ペアで、1文ずつ交代で音読する。</li> <li>•前時で読み取ったことについて確認し、新垣勉さんの子ども時代について思い出す。</li> <li>•3, 4ページ目を読む中で、疑問に思ったことや考えたいことを意識しながら読む。</li> <li>•疑問に思ったことや考えたいことを全体で発表し、みんなで考えたいことを共通の課題とする。 (例) 自分が<b>only one</b>だと感じたのは、どんなところからだろう？ 新垣勉さんの歌声には、なぜ明るさを感じるのだろうか？ 新垣さんは、両親に対してどんな気持ちを持っているのだろうか。</li> <li>•本文を根拠にして課題について読み取り、ワークシートに記入する。</li> <li>•全体で課題について確認し、つらい子ども時代を乗り越え、<b>"Try to be the only one"</b>と考えるようになっていった流れについて理解する。</li> <li>•本時読み取ったことを考えながら、全文を通し読みする。</li> <li>•新垣勉さんの歌う「さとうきび畑」の歌を聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•根拠となる文章を探しながら読み進めているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)</li> <li>•主人公がつらい子ども時代を乗り越え、今のモットーを持つに至った流れについて理解しているか、ワークシートで読み取り状況を確認する。(外国語理解)</li> </ul>
4	<p>前時までに読み取ったことを、プロフィールにすることを通して、新垣勉さんの人生について理解を深め、彼の生き方について感想を持つ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•前時までに読み取ったことを確認しながら音読する。</li> <li>•子ども時代や牧師との出会い、彼のモットー等について確認する。</li> <li>•新垣勉さんが、全国各地でコンサートをしていることを知り、コンサートのちらしにのせる紹介文を英語で書く。(グループの形のまま行い、分からないところを聞きながら進める。)</li> <li>•グループ内でお互いが書いた紹介文を交換し、読み合う。</li> <li>•新垣勉さんの人生についての感想と、自分の生き方について考えたことをノートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•主人公の生き方について感想を持つことができるよう、主人公の育った境遇や時代背景と関連させて、生き方をとらえているか、紹介文とノートで理解状況を確認する。(外国語理解)</li> </ul>
後日	<p>ペーパーテスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•根拠となる文章をもとに適切に理解しているか、別の話を用いてペーパーテストで外国語理解の能力を評価する。</li> </ul>	

(4) 書くことを重点にした単元の流れ

◎教材 SUNSHINE 3 “PROGRAM 2 Volcanoes in Japan”

◎単元目標

世界遺産への登録に向けて、世界遺産としての価値と自分の考えを、読み手に正しく伝わるように文と文のつながりを意識してまとまりのある文を書くことができる。

- 富士山の世界遺産への登録に向けて、自分の考えを含めながら読み手に正しく伝わるように書こうとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 「〇〇を世界遺産に」というテーマで、文と文のつながりを意識したまとまりのある文を書くことができる。(外国語表現の能力)
- 現在完了形の文構造について理解する。(言語や文化についての知識・理解)

◎単元の評価規準と評価方法(総括的評価)

	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
評価規準	富士山の紹介文を、自分の考えを含めながら、読み手に正しく伝わるように書こうとしている。	現在完了形や既習表現を活用して、世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識して書いている。		継続していることや経験した事柄について表現するときには現在完了形を用いることを理解している。現在完了形を用いた文構造について理解している。
評価方法	【第7, 8時】富士山について、自分の考えを含めながら、読み手が理解しやすくなるように英語で紹介文を書いているか、行動観察により取組状況を評価する。	【第10時】「〇〇を世界遺産に」というテーマで、文と文のつながりを意識したまとまりのある文を書くことができるか、できあがった紹介文で英語による表現力を評価する。		【後日】現在完了形の用法について正しく理解しているか、ペーパーテストで評価する。

◎単元計画

時	授業目標	学習活動	形成的評価
単元の最後に「〇〇を世界遺産に」というテーマで紹介文を書くことを告げ、文と文のつながりを意識したまとまりのある文を書くよう、目的意識を持って取り組ませる。			
1	世界遺産についての英文を聞いて理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ALTや教師の話す英文を聞いたり、紹介文を読んだりして、世界遺産について知り、興味を持つ。</li> <li>● 教科書全文を聞いて、概要をつかむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 世界遺産についての紹介文を聞いて理解を深めているか、ワークシートで理解状況を確認する。(外国語理解)</li> </ul>
2	現在完了形(継続)の用法について理解し、これまでずっと続けていることについて話す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在完了形を用いた文について理解する。</li> <li>● 自分が今まで続けて行っている内容について、現在完了形を用いて1~3文作り、音読できるよう練習する。</li> <li>● 自分が今までしてきたことについて友達に話し、相手にも尋ねる。 A: I've ~ since (for)~. How long have you ~? B: Yes, I've ~since (for)~/ No, I've never ~.</li> <li>● 尋ねた結果をワークシートにまとめて書く。 Taro has played soccer for three years.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在完了形(継続)の用法について正しく理解しているか、ワークシートで確認する。(知・理)</li> </ul>
3	現在完了形(経験)の用法について理解し、経験したことについて尋ね合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在完了形(継続)について復習する。</li> <li>● 現在完了形(経験)を用いた文について理解する。</li> <li>● 自分が行ったことがある場所とその回数について現在完了形を用いて1~3文作り、音読練習する。</li> <li>● 友達と対話する。 A: I've been to ~ ( ) times. Have you ever been there? B: Yes, I have. I've been there ( ) times. No, I haven't. I've never been there.</li> <li>● 尋ねた結果をワークシートにまとめて書く。 Taro has been to Nagoya three times.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現在完了形(経験)の用法について正しく理解しているか、ワークシートで確認する。(知・理)</li> </ul>

4	教科書の文を参考にしながら、うれしかったことや悲しかったことなどについて対話する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のPart1の新出単語を理解し、内容を聞いて理解する。(教師から聞き取りの視点を与えて聞かせる。)</li> <li>リサのうれしかった出来事について、内容を正確に聞き取る。</li> <li>Part1を読む。(CD→ペア)</li> <li>教科書を参考に、ペアで、本文の単語を置き換えるなどして、うれしかったことや悲しかったことなどについて対話文を考えて言い合う。</li> <li>ペアで行った対話文をノートに書く。</li> </ul>	教科書の文をもとに、単語や表現を置き換えるなどして、うれしかったことや悲しかったことなどについて伝え合っているか、行動観察により確認する。(外国語表現)
5	教師の与える絵はがきやヒントを参考に、富士山を紹介する英文を考え、友達に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のPart2の新出単語を理解し、内容を読んで理解する。(教師から読み取りの視点を与えて聞かせる。)</li> <li>太郎から届いた絵はがきの概要を読み取る。</li> <li>Part2を読む。(CD→ペア)</li> <li>富士山の絵はがきや資料を参考に、本文の単語を置き換えるなどして、富士山を紹介する英文を考えて言い合う。</li> <li>考えた紹介文をノートに書く。</li> </ul>	教科書の文をもとに、単語や表現を置き換えるなどして、富士山を紹介する文を書いているか、ノートで確認する。(外国語表現)
6	桃子の発表や世界遺産についての説明を読み取り、ふさわしい表現を用いて富士山を紹介する英文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書のPart3の新出単語を理解し、内容を読んで理解する。(教師から読み取りの視点を与えて読ませる。)</li> <li>Part3を読む。(CD→ペア)</li> <li>桃子の発表を読み取り、富士山を紹介するのに有効な表現を見つけ、紹介文をノートに書く。</li> <li>教科書P21の世界遺産の説明を読み、富士山の世界遺産登録に向けて考えを持つ。</li> </ul>	桃子の発表文や世界遺産についての説明を読んで理解し、ふさわしい表現を用いて富士山を紹介する英文を書いているか、ノートで取組状況を確認する。(外国語表現)
7 ・ 8	富士山を世界遺産にするために世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山の自然や文化等の中からセールスポイントを選択し、富士山についての紹介文を、辞書を活用しながら各自で書く。</li> <li>途中、同じものを選択した人同士でグループをつくり、よりよい文になるように、お互いにアドバイスをし合う。</li> <li>富士山についての紹介文を各自で完成させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士山について、自分の考えを含めながら、英語で紹介文を書いているか、行動観察により取組状況を確認する。(関・意・態)</li> <li>富士山を世界遺産にするため、富士山のすばらしさと自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書いているか、ワークシートで取組状況を確認する。(外国語表現)</li> </ul>
9	友達の作った紹介文を読んで、英語で感想を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いが作成した富士山の紹介文を読みあい、1文以上、質問や英語で感想を書き添える。同じ班→別の班</li> <li>友人から出た質問に対して、返答する英文を書き入れる。</li> </ul>	紹介文を読んで、英語で自分なりの感想を書いているか、掲示物で確認する。(外国語表現)
10	世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域にある有名な場所や史跡を世界遺産にするための紹介文を書く。必要な情報は、あらかじめヒントとして与える。</li> </ul>	世界遺産としての価値と自分の考えを、文と文のつながりを意識してまとまりのある文章を書いているか、英文を評価する。(外国語表現)

## 5 中学校外国語科(英語)：評価規準に盛り込むべき事項

### (1) 評価の観点及びその趣旨

外国語科における評価の観点は、以下の4観点となります。このうちの「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」については、技能のみではなく、思考力・判断力・表現力が含まれます。

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。	外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。

### (2) 内容のまとめりごとの評価規準に盛り込むべき事項

評価の4観点の中に、それぞれ右図のように2つずつの視点があります。

学習指導要領の内容の言語活動における「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を内容のまとめりとし、それぞれの評価規準に盛り込むべき事項とその例を以下に示しました。

それぞれの評価の観点及び視点の趣旨を正しく理解し、的確に評価をすることが大切です。そのためには、評価の方法についても工夫をしていくことが必要です。

【外国語科4観点と4技能(領域)の評価の視点】

視点 スキル	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度		外国語 表現の能力		外国語 理解の能力		言語や文化に ついての知識・理解	
	取組	継続	正確さ	適切さ	正確さ	適切さ	言語	文化
聞く	●	●	---	---	●	●	●	●
話す	●	●	●	●	---	---	●	●
読む	●	●	●	●	●	●	●	●
書く	●	●	●	●	---	---	●	●

#### ア 「聞くこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p>【言語活動への取組】 「聞くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相づちをうったりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。</li> <li>聞いたことについて簡単な言葉や動作などに反応している。</li> </ul> <p>【コミュニケーションの継続】 様々な工夫をして、聞き続けようとしている。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手に聞き返すなどして、言われたことを確認しながら聞き続けている。</li> </ul>		<p>【正確な聞き取り】 英語で話されたり読まれたりする内容を正しく聞き取ることができる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>語句や表現、文法事項などの知識を活用して短い英語の内容を正しく聞き取ることができる。</li> </ul> <p>【適切な聞き取り】 場面や状況に応じて英語を適切に聞いて理解することができる。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話されている内容から話し手の意向を理解することができる。</li> <li>まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。</li> </ul>	<p>【言語についての知識】 発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発音の違いや音変化に関する知識を身に付けている。</li> <li>基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。</li> </ul> <p>【文化についての理解】 言語の背景にある文化について理解している。 (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</li> </ul>

## イ 「話すこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p><b>【言語活動への取組】</b> 「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例) • 間違ふことを恐れず積極的に自分の考えなどを話している。 • 聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。</p> <p><b>【コミュニケーションの継続】</b> 様々な工夫をして、話し続けようとしている。 (例) • つなぎ言葉を用いるなどして話を続けている。 • 身振り手振り、知っている語句や表現をうまく利用して自分の考えなどを話している。</p>	<p><b>【正確な発話】</b> 自分の考えや気持ち、事実などを英語で正しく話すことができる。 (例) • 語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく話すことができる。</p> <p><b>【適切な発話】</b> 場面や状況に応じて英語で適切に話すことができる。 (例) • 場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 • 与えられたテーマについて、自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。</p>	/	<p><b>【言語についての知識】</b> 英語やその運用についての知識を身に付けている。 (例) • 基本的な強勢の違いを理解している。 • 話を続けるために必要なつなぎ言葉や相づちをうつ表現などを知っている。</p> <p><b>【文化についての理解】</b> 言語の背景にある文化について理解している。 (例) • 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>

## ウ 「読むこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p><b>【言語活動への取組】</b> 「読むこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例) • 読んだことについて、メモをとったり簡単な言葉や動作などで反応したりしている。 • 辞書を活用して読んでいる。</p> <p><b>【コミュニケーションの継続】</b> 様々な工夫をして、読み続けようとしている。 (例) • 繰り返して読んだり、読み返したりして読み続けている。</p>	<p><b>【正確な音読】</b> 英語を正しく音読することができる。 (例) • 正しい強勢、イントネーション、区切りなどを用いて音読することができる。</p> <p><b>【適切な音読】</b> 英語で書かれた内容が表現されるように適切に音読することができる。 (例) • 意味内容にふさわしく音読することができる。 • 適切な声量や明瞭さで音読することができる。</p>	<p><b>【正確な読み取り】</b> 英語で書かれた内容を正しく読み取ることができる。 (例) • 語句や表現、文法事項などの知識を活用して内容を正しく読み取ることができる。</p> <p><b>【適切な読み取り】</b> 目的に応じて英語を適切に読んで理解することができる。 (例) • あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 • 書かれた内容から書き手の意向を読み取ることができる。 • 伝言や手紙などを読んで、その内容に合わせて適切に応じることができる。</p>	<p><b>【言語についての知識】</b> 英語やその運用についての知識を身に付けている。 (例) • 基本的な強勢やイントネーションなどの違いを理解している。 • 語句や文、文法などに関する知識を身に付けている。</p> <p><b>【文化についての理解】</b> 言語の背景にある文化について理解している。 (例) • 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>

## エ 「書くこと」

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<p><b>【言語活動への取組】</b> 「書くこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (例) • 読み手が理解しやすくなるように書いたり、書き直したりしている。</p> <p><b>【コミュニケーションの継続】</b> 様々な工夫をして、書き続けようとしている。 (例) • うまく書けないところがあっても知っている語句や表現を用いて書き続けている。</p>	<p><b>【正確な筆記】</b> 自分の考えや気持ちなどを英語で正しく書くことができる。 (例) • 語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</p> <p><b>【適切な筆記】</b> 目的に応じて英語で適切に書くことができる。 (例) • 場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。 • 内容的にまとまりのある文章を書くことができる。</p>	/	<p><b>【言語についての知識】</b> 英語やその運用についての知識を身に付けている。 (例) • 文構造や語法、文法などに関する知識を身に付けている。 • 正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。</p> <p><b>【文化についての理解】</b> 言語の背景にある文化について理解している。 (例) • 家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解している。</p>

## 6 授業づくり規準(外国語科)

### P(構想)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (外国語科の内容にかかわる, 外国語科固有の授業づくりの力)
学習者の 実態把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の発達の段階を踏まえた上で, 生活体験や学習経験は学習者によって異なることを意識している。</li> <li>学習の方法や理解の仕方は学習者によって異なることを意識している。</li> <li>学習者の性格や学習に対する意欲等を把握している。</li> <li>学習集団の特質や, 個と集団のかかわりを把握している。</li> <li>個々の学習者に対して, 指導上配慮すべき事項を把握している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の外国語によるコミュニケーション能力を把握している。</li> <li>学習集団のコミュニケーション能力を把握している。</li> </ul>
教科内容に 関する 知識・技能		<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語科の目標が, 外国語によるコミュニケーション能力の育成・伸長であることを理解している。</li> <li>外国語によるコミュニケーション能力の育成・伸長のプロセスを理解している。</li> <li>外国語によるコミュニケーション能力の育成・伸長に必要な指導方法を理解している。</li> <li>コミュニケーション能力の育成・伸長に有効な学習集団の活用方法を理解している。</li> </ul>
目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習は, 学習者自身の主体的・探究的な活動によって成立することを理解している。</li> <li>学校の教育目標や課題を踏まえ, 育てたい力をとらえている。</li> <li>学習を通して学習者の自信を深め, 自己肯定感を高めるという意識を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語によるコミュニケーション能力について, 学習者が修得すべきレベルを把握している。</li> <li>学習者の外国語によるコミュニケーション能力修得につながる適切な目標を設定している。</li> </ul>
単元計画 (授業計画)	<p><b>(学習指導案の作成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導案の重要性や, 目標, 内容, 方法等の指導案の形式の意図を理解し, 指導計画を表現している。</li> </ul> <p><b>(評価計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な到達目標とそのための適切な評価方法を選択・計画している。</li> <li>自己評価, 他者評価等, 学習者が学習を改善するための手だてを考えている。</li> </ul>	<p><b>(単元計画の作成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元のつながり, 教材の特質, 学習者の実態を踏まえた単元目標を設定している。</li> </ul> <p><b>(評価計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元目標に対して,                             <ol style="list-style-type: none"> <li>学習者が自身の達成状況を確認できる場面を設定している。</li> <li>指導者が学習者の達成状況を確認する場面を設定している。</li> </ol> </li> </ul>
授業の構成	<p><b>(学習方法・形態の選択・組織)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目標を達成するために, 学習者の実態を踏まえた適切な学習方法や学習形態を考えている。</li> <li>新たな知識・技能・学び方等を発見したり, 習得したりする喜びを実感できる授業を行うために, 学習方法を改良・開発している。</li> <li>主体的な探究活動や問題解決を考慮して, 授業を組み立てている。</li> <li>学習者が学習内容や学習の過程を振り返るための手だてを考えている。</li> </ul>	<p><b>(学習内容の構成)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元構想, 題材, 学習者の実態を踏まえた授業目標を設定している。</li> <li>設定した授業目標の達成を目指し, 外国語によるコミュニケーション活動を核として授業を構成している。</li> </ul> <p><b>(教材・題材の選択・構成・開発)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業目標と整合性があり, 学習者が達成感を得ることができるコミュニケーション活動を設定している。</li> </ul> <p><b>(板書等の計画)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国語によるコミュニケーション活動の活性化のために, 板書の活用を計画している。</li> <li>コミュニケーション活動の成果を共有する手段として, 板書の活用を計画している。</li> </ul>

## D(展開)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (外国語科の内容にかかわる, 外国語科固有の授業づくりの力)
学習環境 づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習環境が, 学習者の安全や認知にどのような効果を与えるかを意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語によるコミュニケーション活動が活発に行われるよう学習環境を整えている。</li> </ul>
学習への構 えや学び方 の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者がどのような姿勢で学習に臨めばよいかを明確に示し, 学習者に意識させている。</li> <li>学習過程や自分の考えをまとめていけるようなノートづくりを指導している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の外国語によるコミュニケーション能力を高めるために,               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 積極的な聞き手・読み手となるよう指導している。</li> <li>② 積極的な話し手・書き手となるよう指導している。</li> </ol> </li> <li>学習者が外国語によるコミュニケーション活動を通し, お互いが共に成長することの大切さを意識するよう指導している。</li> </ul>
個や集団 への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>個への対応に具体的な配慮をしている。</li> <li>集団における学習の大切さや, 個の発言の集団への影響を意識している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニケーション活動を通して, すべての学習者が成長できるよう配慮している。</li> </ul>
音声 表情 所作等	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し方や表情・所作と学習者の反応との関連を意識している。</li> <li>場面や目的, 環境等に応じて, 声の大きさ, 話の速さ・緩急・強弱等の話し方や表情を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者自身が, 外国語によるコミュニケーションを積極的に行おうとしている。</li> </ul>
指導技術	<p>(言葉遣い)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の発達の段階に応じた適切な言葉遣いをしている。</li> </ul> <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかりやすい言葉で, 端的に説明している。</li> </ul> <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>目的を意識させながら, どんな行動をすべきかを明確に示している。</li> </ul> <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者が何を問われているか理解できる発問をしている。</li> </ul> <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>見やすさを考慮し, 視覚的に構造化するなど, 工夫しながら丁寧に板書している。</li> <li>学習者の様子を観察しながら, 板書している。</li> </ul> <p>(演技・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習場面や教材の特性に応じて, 適切だと考える演技をしている。</li> <li>待つ時間や「授業のやまば」等を意識して授業を展開している。</li> </ul>	<p>(言語)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者が外国語に触れる機会を充実させるために, 授業では外国語の使用量を増やし, 必要に応じて, より平易な表現に言い換えている。</li> </ul> <p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の主体的で充実したコミュニケーション活動を促すため,               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習者にとってわかりやすい説明を心掛けている。</li> <li>② 説明は必要最小限にとどめている。</li> </ol> </li> </ul> <p>(指示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の主体的で充実したコミュニケーション活動を促すため,               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習者にとってわかりやすい指示を心掛けている。</li> <li>② 指示は必要最小限にとどめている。</li> </ol> </li> </ul> <p>(発問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の主体的で充実したコミュニケーション活動を促すため, 学習者の思考・判断を引き出す発問をしている。</li> </ul> <p>(板書)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の主体的で充実したコミュニケーション活動を促すため, 板書を活用している。</li> </ul> <p>(演示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の主体的で充実したコミュニケーション活動を促すため, 学習者に手本を示している。</li> </ul> <p>(教材・教具の活用, 資料提示)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の主体的で充実したコミュニケーション活動を促すため, 視聴覚教材を活用している。</li> </ul>
学習活動に おける即時 的対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の発言や行動を適切に受け止め, 達成感, 満足感を感じさせている。</li> <li>学習内容に適した評価法を用意し, 実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語によるコミュニケーション活動を通して,               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 学習者が達成感を得ることができるように, 適切に対応している。</li> <li>② 活動から学習者がお互いの成長を実感することができるように, 適切に対応している。</li> </ol> </li> </ul>

## C・A(評価・改善)

力 要素	学習指導力 (授業における姿勢や指導方法等各教科等共通の授業づくりの力)	教科指導力 (外国語科の内容にかかわる, 外国語科固有の授業づくりの力)
授業の振り 返りと分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導と評価の一体化」を意識している。</li> <li>授業によって, 学習者がいかに変容したかについて, 絶えず関心を持っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習者の姿・様子から, 設定した目標の達成度を検証している。</li> </ul>
改善に向け た手だて	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導の方法の効果について, 意識的・具体的にとらえ, 指導方法の改善に結び付けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検証結果をもとに, P(構想)とD(展開)を振り返り, よりよい授業づくりに生かしている。</li> </ul>